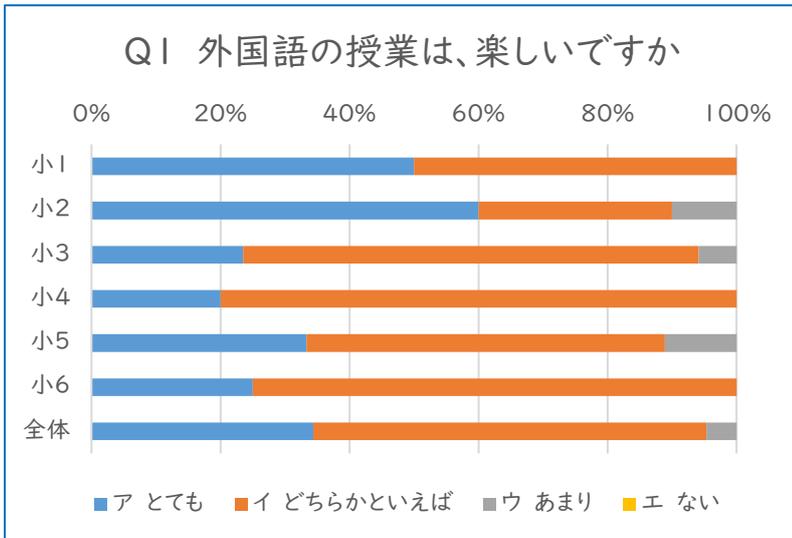
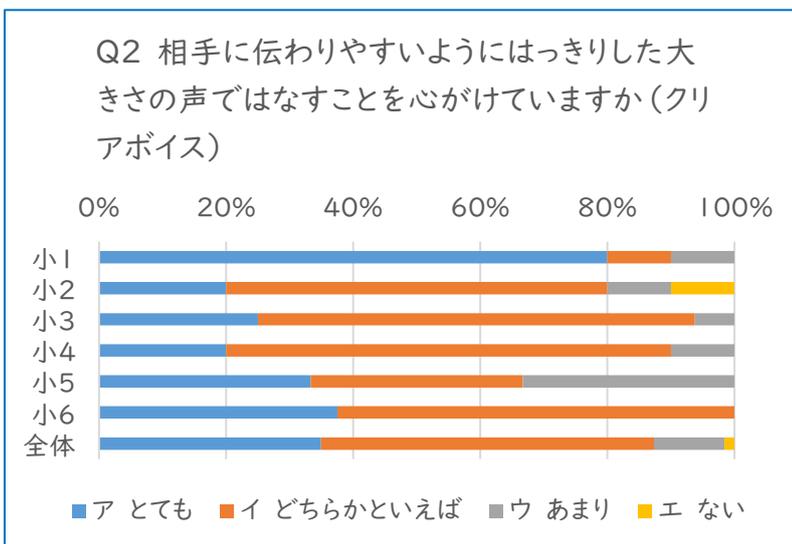


外国語に関する児童の意識調査 (R6年 12月実施) 結果と考察



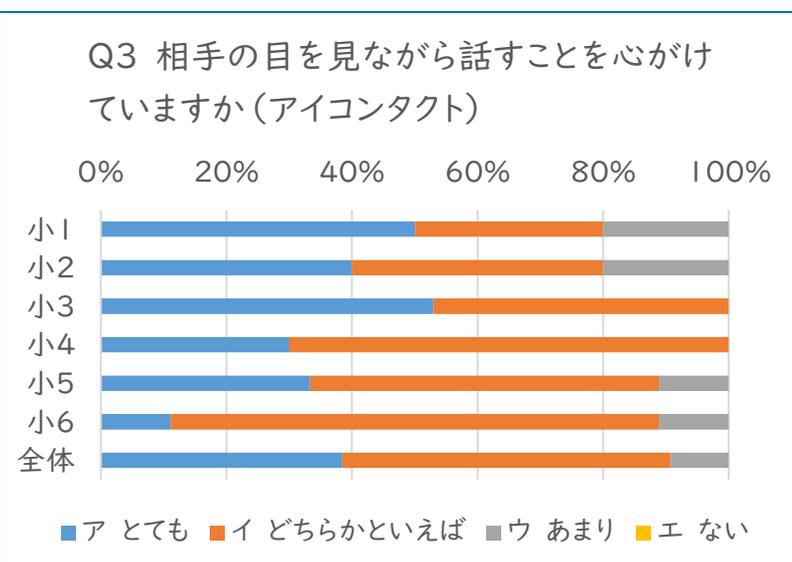
【考察】

外国語の授業を9割以上の児童がプラスの評価(とても、楽しい)をしている。学年によっては、「あまり好きではない」という児童もいる。外国語に慣れ親しんでいくためにも、「好き」ということが、大切になってくると思う。今後も「楽しく慣れ親しむ」環境や授業展開を工夫していきたい。



【考察】

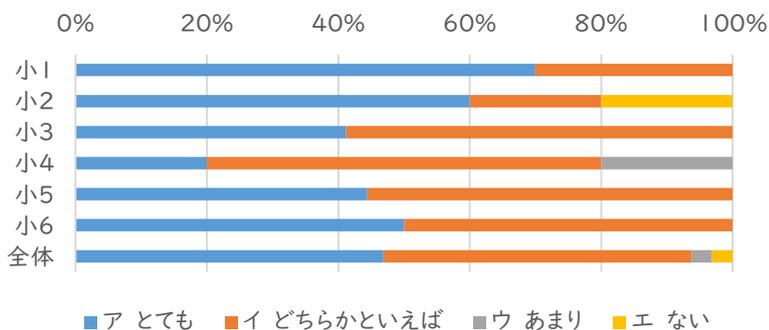
すべての学年でクリアボイスを心がけることができている児童(いつも、どちらかといえば)が約8割以上いる。昨年度と比較すると学年によっては若干のプラス評価の低下も見られる。本校が大切にしている「学び合い」という視点からも今後さらにクリアボイスの意識を高めることが必要と考える。



【考察】

学校全体としては、9割の児童が、プラス評価であった。「相手を意識する」は相手を大切にする意識の醸成の基盤のひとつと考える。他の様々な教科等の活動でも大切なので、他教科等と関連付けて取り組んでいきたい。

Q4 英語をもっと話せるようになりたい ですか



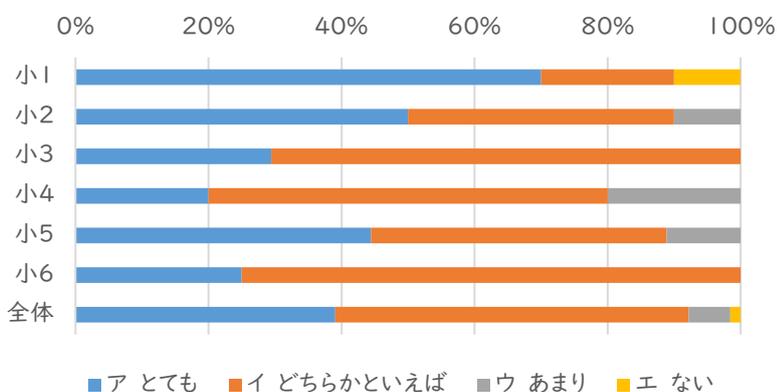
【考察】

全体的に見ると外国語の授業を楽しみにしている児童も多いが、プラス評価に学年によって差がある。

「あまり思わない」「思わない」が一定数いるので、外国の言葉を知る、外国語文化を知ることが前向きにとらえるような場面を多く作っていききたい。

英語を身近に、そして英語を使ってみたいくなるような授業展開も今後も考えていきたい。

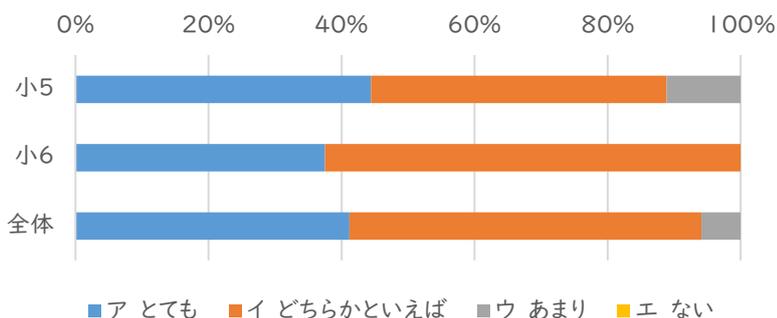
Q5 外国語の授業は好きですか。



【考察】

すべての学年で外国語の授業が好きと感じている児童が約8割以上おり、全体的に外国語には好印象を持っている。ただ、あまり好きではない、好きではないと答えている児童も若干見られるため、授業等の工夫も考えていく必要がある。

Q6 外国語科の授業は、わかりますか (小5,6のみ)



【考察】

両学年の児童とも「外国語科の授業はわかりますか」に9割がプラス評価をしている。専科による授業の充実及びALTとの連携の充実がその一因であると思う。すべての児童が「わかる」と自信を持って言える環境を今後も作っていききたい。

【保護者・学校関係者からの感想】

- 本年度から英語専科が週1で来校し、ALTとともに授業を行っている。小1、2年担任は単独で授業を行っている。英語専科教員・ALTがよく連携し、英語を作りたくなるような雰囲気、授業展開を工夫しているので、子どもたちも「楽しい」と話している。
- 保護者からは、「楽しい雰囲気の中、外国語の学習を積み重ねていって、スムーズに中学校英語科につないでほしい」などの声をいただいた。本年度は中学校英語教師が英語専科と一緒に授業を行う機会、英語専科が中学校英語を参観する機会を設けた。